

科目名	学生生活入門Ⅰ (法律学科)	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			法律学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Introduction to University life Ⅰ	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	わたなべたけし・かわぐちまこと・あきやま えいいち・たきざわじゅん・なかむらいつは る・おにつかたかまさ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	渡部毅・川口誠・秋山栄一・瀧澤純・中村逸 春・鬼塚隆政	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	大学生生活に慣れ、大学の学びの基本を知り、将来の目標を見据える。			
到達目標	大学で学び、大学生生活を送るための知識を身につけ、知識を使うことができるようになる。			
授業概要	大学生生活に慣れるための活動を行うほか、大学での「読む・書く・聞く・話す」の基礎を学ぶ。授業全体を通して生活指導を行うほか、一部の回では個人面談や将来に向けた活動を行う。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション、個人面談			
第2回	学生生活の心がまえ、個人面談			
第3回	電算室の使い方、個人面談予備日			
第4回	ノートをとる			
第5回	図書館の使い方			
第6回	法律用語の基礎			
第7回	読む、要約する、わかりやすく書く			
第8回	意見を伝える、ディベートに向けて			
第9回	総合学習Ⅰ			
第10回	ディベート			
第11回	意見を書く			
第12回	レポートの書き方			
第13回	総合学習Ⅱ			
第14回	大学生生活をメールで振り返る、個人面談			
第15回	エントリーシートを書く、個人面談			
第16回	定期試験			
授業時間外の 学習	授業前には予習を行い(1.5時間程度)、授業後には復習を行うこと(1.5時間程度)。また、出題される課題を実施することが必要になる(1.0時間程度)。			
履修条件 受講のルール	授業「電算室の使い方」と「大学生生活をメールで振り返る」では、パソコンを必ず持参すること。			
テキスト	使用しない。			
参考文献・資料	学習技術研究会(編)『知へのステップ—大学生からのスタディ・スキルズ—』(くろしお出版, 2015)			
成績評価の方法	定期試験 50%、課題提出 30%、行事への参加と授業態度 20%の割合で評価する。※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	渡部：火曜 10:00~11:00 木曜 15:00~16:00 川口：月曜 13:00~14:30 木曜 13:00~14:30 秋山：月曜 14:40~16:10 水曜 14:40~16:10 瀧澤：火曜 10:40~12:10 金曜 10:40~12:10 中村：木曜 14:00~15:30 金曜 14:00~15:30 鬼塚：(授業初回にお伝えします)			
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)とする。			
実務経験及び実務を活かした授業内容				
学生へのメッセージ	大学では「自ら問いを探し、自ら答えを出す姿勢」が求められます。この授業はその姿勢を身につけるための基礎となるものです。全ての回が重要ですので、欠席はしないようにしてください。			

科目名	学生生活入門1 (国際学科)	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			国際学科	■必修 □選択	
英文表記	Introduction to University Life I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	こくさいがつか せんじんきょういん	実務家教員担当科目	取得単位	2単位	
担当者名	国際学科専任教員	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	主体的な学びの姿勢の育成、基礎的スタディスキルの修得、生活指導ならびにキャリア・サポート				
到達目標	1. 大学生として必要な主体的な学びの姿勢を身につけることができる。 2. 大学における学修のための基礎的なスタディスキルをしっかりと身につけることができる。 3. 明確な目標の実現に向けて、情熱を持ち続けながら取り組むことができるようになる。				
授業概要	大学生らしく学ぶためには、はじめに「主体的な学びの姿勢」を身につけることが重要です。そのためにも、スタディスキルの基礎をしっかりと身につける必要があります。また、体験学修などを通して、社会人基礎力としてのコミュニケーション能力や教養を高めることも大切です。この授業では、大学生生活を円滑に有意義に過ごすために、これらを総合的に学ぶことができます。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション				
第2回	大学生の学び				
第3回	ノート・テイキングの基本スキル				
第4回	図書館の利用方法				
第5回	電算室の利用方法・電子メールのテクニック				
第6回	海外で暮らすということ				
第7回	リーディングの基礎				
第8回	レポートの書き方				
第9回	海外で働くということ				
第10回	プレゼンテーションの基礎				
第11回	総合学習①				
第12回	法学の基礎 I				
第13回	総合学習②				
第14回	キャリアデザイン I				
第15回	前期の反省・個人面談				
第16回	定期試験				

授業時間外の学習	<p>[予習] 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、参考文献やWEBサイトなどを活用し予習をしてください。(90分程度)</p> <p>[復習] ノートや配布資料を確認し、参考文献やWEBサイトなどを活用し復習をしてください。(90分程度)</p> <p>[その他] 日常的に新聞を読み、社会の出来事に関心を持って生活してください。(30分程度)</p>
履修条件 受講のルール	<p>国際観光学科1年生の必修科目です。</p> <p>大学生らしい整容と主体的な学びの姿勢が求められます。</p>
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	適宜配布(ポータルサイト含む)ないし授業内で案内します。
成績評価の方法	<p>下記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <p>①定期試験(50%) ②課題の提出と発表(30%) ③主体的学びの姿勢(20%)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤 克枝：火曜日および水曜日 14時40分～16時10分 ・橋元 志保：木曜日 13時00分～16時00分 ・半田 幸子：月曜日 14時00分～15時00分／水曜日 15時00分～16時00分 ・井上 寛：月曜日 9時00分～10時30分／金曜日 13時00分～14時30分 <p>※これ以外の時間は事前に予約してください。</p>
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>学生生活入門Ⅰでの学びは、すべての学修の基盤となります。ここで一生懸命学ぶことにより、大学4年間で充実したものとなるはずですが、決意と情熱をもって取り組んでください。</p>